

〔 特 集 〕

今こそ再考 “子どもの感染対策”

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が流行し3年が経ちました。この間、さまざまな子どもの感染対策が、家庭、保育施設、学校、病院とさまざまな場所で実施されました。そのなかには子どもの権利を侵害するようなものもありましたし、その一部は今も続いています。医療者だけでなく、保護者や、保育・教育関係者も頭を悩ませてきたことだと思います。病院のように感染症流行を限りなくゼロに近づけたい場所と、ある程度の感染症流行を受容しなくてはやっていけない場所では、本来めざす感染対策は異なるはずです。「絶対に感染してはならない」というお題目の下では、多くの不都合が生じることは、読者の皆さんがすでに経験されているのではないのでしょうか？

今特集では、そんな時代だからこそ、病院における子どもの感染対策の基本を学びつつ、それ以外の現場で実行可能な感染対策についてそれぞれのエキスパートに執筆してもらいました。とてもリアリスティックでわかりやすい内容になっています。ぜひご通読ください。

（あいち小児保健医療総合センター総合診療部総合診療科／伊藤健太）

